

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-96959(P2002-96959A)

【公開日】平成14年4月2日(2002.4.2)

【出願番号】特願2001-222702(P2001-222702)

【国際特許分類】

B 6 5 H 31/00 (2006.01)

B 4 1 F 13/64 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 31/00 Z

B 4 1 F 13/64 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】枚葉紙状の印刷材料を処理する印刷機の排紙装置であって、ある高さに上部端を有する枚葉紙パイルを、パイルステーションにある枚葉紙から構成するパイルステーションへの枚葉紙の搬送を運転時に用いる枚葉紙コンベヤと、

第1の位置と、見本紙を取り出す第2の位置との間で位置調節可能で、前記第1の位置では前記枚葉紙コンベヤへのアクセスを妨げ、前記第2の位置では前記枚葉紙コンベヤへのアクセス可能にする保護部(24)と、

枚葉紙搬送方向に見て、前記枚葉紙パイルから下流のある距離に、かつ前記枚葉紙パイルの上部端の上方のある距離にある水平な揺動軸(29)とを有し、

前記保護部(24)が、前記揺動軸(29)を中心として揺動可能のように前記排紙装置上でヒンジ構造をしており、

前記保護部(24)が、前記揺動軸を中心として揺動可能で、前記第1の位置において、前記揺動軸から下向きに少なくとも、前記枚葉紙パイルの上部端の高さまで延びる第1の保護区域(24.1)と、前記揺動軸に平行に延びるヒンジ軸(30)と、該ヒンジ軸によって前記第1の保護区域(24.1)とヒンジ式に連結されている第2の保護区域(24.2)とを含み、

前記両保護区域(24.1、24.2)は、これらを折畳むことによって一緒に前記第1の位置へと揺動し、それから揺動し互いに離れて前記第2の位置に移動し、これに対応して前記第1の保護区域(24.1)が前記揺動軸(29)に関して上方に揺動して前記両保護区域(24.1、24.2)が展開する排紙装置。

【請求項2】前記第1の保護区域(24.1)が、前記第1の位置では、下流側を向いた風を実質的に風向きに対して横向きに偏向させる風除けを構成する、請求項1記載の排紙装置。

【請求項3】前記保護部(24)が前記第2の位置では少なくともほぼ伸張した姿勢をとる、請求項1記載の排紙装置。

【請求項4】前記揺動軸(29)と前記枚葉紙パイル(14)の間隔(A)が、前記第2の位置にある前記保護部(24)によって少なくともほぼ橋渡しされる、請求項1

記載の排紙装置。

【請求項 5】前記第2の保護区域(24.2)が、窪み(24.2'，24.2'')を備えるシールドとして構成されており、前記窪み(24.2'，24.2'')は前記枚葉紙パイル(14)の方に向かって、ならびに部分的に上方かつ部分的に下方に向かって開いている、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 6】前記第2の保護区域(24.2)が少なくとも主として透明な材料でできている、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 7】前記第2の保護区域(24.2)が、操作者の手が通り抜けないように形成された目視開口部(40)を有している、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 8】前記保護部(24)が主として透明な材料でできている、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 9】前記第2の保護区域(24.2)が、前記保護部(24)の最初の、つまり第1の位置から、手動で上方に搖動可能である、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 10】前記第2の保護区域(24.2)がその最初の位置から上方に搖動したときに作動させることができ可能な信号送信器(39)を備えている、請求項9記載の排紙装置。

【請求項 11】前記保護部(24)が前記第1の位置から前記第2の位置へおよびその逆に搖動したときに前記第2の保護区域(24.2)を案内するスロット案内部を備えている、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 12】前記枚葉紙(3.1)の前記搬送方向に前記パイルステーション(3)に差込可能な補助パイル支持体(36)が設けられており、この補助パイル支持体は前記保護部(24)が前記第1の位置にあるときにだけ前記パイルステーション(3)に差込可能である、請求項1記載の排紙装置。

【請求項 13】前記第1の位置から前記第2の位置への前記保護部(24)の位置調節可能性が、前記パイルステーション(3)への前記補助パイル支持体(36)の差込によって阻止される、請求項12記載の排紙装置。

【請求項 14】請求項1から13までの少なくとも1項記載の排紙装置を備えている、枚葉紙を処理する機械。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明によれば、そのために保護部は、搖動軸を中心として搖動可能で、第1の位置において、搖動ピンから下向きに少なくとも、枚葉紙パイルの上部端の高さまで延びる第1の保護区域と、搖動軸に平行に延びるヒンジ軸と、該ヒンジ軸によって第1の保護区域とヒンジ式に連結されている第2の保護区域とを含み、両保護区域は、これらを折畳むことによって一緒に第1の位置へと搖動し、それから搖動し互いに離れて第2の位置に移動し、これに対応して第1の保護区域が搖動軸に関して上方に搖動して両保護区域が展開する。_